

浄土平

磐梯吾妻スカイライン 開通当時の浄土平

National
Parks
of Japan



1959年(昭和34年)、「磐梯吾妻スカイライン」が開通した当時の浄土平には、現在のような建物やトイレなどの施設が無いにもかかわらず、数多くのバスが行き交う様子からも、一般道路が開通すると同時に観光客が一気にこの場所へ押し寄せたことがうかがえます。

現在の浄土平は、舗装道路や駐車場が整備され、多くの訪問者が自家用車で訪れるようになっています。1991年(平成3年)に環境省によって開設された浄土平ビジターセンターでは、自然観察会や展示を通じて訪問者に自然環境の大切さを伝えています。

吾妻小富士や一切経山への登山や散策の拠点としての役割は変わらず、国立公園の活用と自然保護の重要性を象徴する場所として、多くの人々に親しまれています。

